

政策	1章 政策2	学校の魅力をさらに高める	
主管課	学校教育課	関係課	教育総務課、給食センター

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
児童生徒	「地域とともにある学校づくり」への転換を図り、学校・家庭・地域が本来の教育機能を発揮することで、児童生徒がよりよい社会や人生を切り拓いていく「生きる力」を育み、自己の将来を見通した持続可能な社会の創り手となるように教育環境の整備・充実を推進します。また、児童生徒一人ひとりの個性を尊重した、支持的風土（※1）のある学級・学校づくりを推進します。 （※1）支持的風土…個人・集団における自主的・実践的な態度を育成するため、互いに認め合い、支え合う集団をつくること。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	児童・生徒数		人	見込値					6,093	6,237	6,351	6,438
				実績値		6,427	6,540	6,562	6,549	6,636	6,628	
②				見込値								
				実績値								
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	小中一貫教育実施校	校	目標値					0	0	0	18
				見込値					0	0	0	0
				実績値	-	0	0	0	0	0	0	
B	総合計画	「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（小学校）	-	目標値					B	B	B	B
				見込値					B	B	B	B
				実績値	B	B	-	A	B	B	B	
C	総合計画 (総合戦略)	「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（中学校）	-	目標値					B	B	B	B
				見込値					C	C	C	B
				実績値	C	C	-	B	C	C	C	
D	総合計画	「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（小学校）	-	目標値					A	A	A	A
				見込値					A	A	A	A
				実績値	A	B	-	A	B	B	B	
E	総合計画	「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（中学校）	-	目標値					B	B	B	B
				見込値					B	B	B	B
				実績値	C	B	-	C	B	B	B	
F	参考	「全国学力・学習状況調査」児童質問紙における全国比較（小学校）	-	目標値					B	B	B	B
				見込値					B	B	B	B
				実績値	-	-	-	B	B	A	B	
G	参考	「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙における全国比較（中学校）	-	目標値					B	B	B	B
				見込値					B	B	B	B
				実績値	-	-	-	B	A	B	B	
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト		事業費	千円					1,379,843	1,113,299	1,419,244	0	0
		国・県支出金	千円					239,061	179,267	355,820		
		地方債	千円					260,200	15,900	23,800		
		その他	千円					10,403	11,000	26,430		
		一般財源	千円					870,179	907,132	1,013,194		
施策に関する事務事業の合計額												

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	小中一貫教育実施校
	設定理由	生きる力の育み及び自己の将来に向けて、子どもの状況に応じた対応や地域に応じた特色ある学校づくりとしての小中一貫教育実施校の実施状況を把握する。
	目標値	市内小中学校全18校での実施を目指す。
	見込値	高嶺小中一貫教育校について、移転改築工事の入札不調により移転計画の見直しが必要となり、令和11年度の開校を目指すこととなったことから、0校であると見込む。
B	総合計画	「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（小学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けた学びの基礎の定着度合いとして、学力調査における全国平均との差を把握する。（全国学力・学習状況調査）
	目標値	全国平均マイナス5ポイント以内(B)を維持することを目指し、R12年度には全国平均以上の(A)を目指す。
	見込値	令和3年度はAとなったが、令和4年度はBとなった。対象となる児童は毎年度異なることから、例年の水準であるBが続くと見込む。
C	総合計画（総合戦略）	「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（中学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けた学びの基礎の定着度合いとして、学力調査における全国平均との差を把握する。（全国学力・学習状況調査）
	目標値	策定時(H30年度)が全国平均マイナス5ポイント以上(C)であることから、マイナス5ポイント以内(B)を目指し、R12年度には全国平均以上の(A)を目指す。
	見込値	令和3年度はBとなったが、令和4年度はCとなった。対象となる児童は毎年度異なることから、令和6年度は例年の水準であるCと見込むものの、令和7年度は新たな取り組み等によりBになると見込む。
D	総合計画	「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（小学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けて児童生徒の体力を把握する。（全国学力・学習状況調査）
	目標値	現状でも既に全国平均を超える水準(A)の年もあることから、全国平均以上の水準(A)を維持することを目指す。
	見込値	令和3年度はAとなったが、令和4年度の実績値はBとなった。令和4年度のBはAに近い水準であったことから、今後も例年の水準であるAが続くと見込む。
E	総合計画	「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（中学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けて児童生徒の体力を把握する。（全国学力・学習状況調査）
	目標値	策定時(平成30年度)が全国平均マイナス5ポイント以上(C)であることから、マイナス5ポイント以内(B)を目指し、R12年度には全国平均を超える水準(A)を目指す。
	見込値	体育の授業や部活動の制限がなくなったことから、全国平均マイナス5ポイント以内のBが続くと見込む。
F	参考	「全国学力・学習状況調査」児童質問紙における全国比較（小学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けて自己肯定感の高まりや学校生活の充実度を把握する。「全国学力・学習状況調査」児童質問紙における全国比較(小学校)
	目標値	今後も全国平均マイナス5ポイント以内(B)を維持することを目指す。
	見込値	令和4年度はBとなったが、令和5年度はAとなった。対象となる児童は毎年度異なることから、例年の水準であるBが続くと見込む。
G	参考	「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙における全国比較（中学校）
	設定理由	生きる力の育みに向けて自己肯定感の高まりや学校生活の充実度を把握する。「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙における全国比較(中学校)
	目標値	今後も全国平均マイナス5ポイント以内(B)を維持することを目指す。
	見込値	令和4年度はAとなったが、令和5年度はBとなった。対象となる児童は毎年度異なることから、例年の水準であるBが続くと見込む。
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）	(6) 関係者の意見・要望
<div><ul style="list-style-type: none">・G I G Aスクール構想に基づき、令和2年度からG I G Aタブレットを配布している。令和7年度～令和9年度に掛けて、G I G A第2期としてタブレットの入れ替えを予定している。・令和6年度から医療的ケア児を受け入れている。・令和6年度から子供支援コーディネーターを配置し、支援を要する子どもの発見に向けたスクリーニングを推進するとともに、関係機関と連携できる仕組みづくりに取り組んでいる。・学校給食センター施設の老朽化が進行し、建て替えが必要となっている。・物価高騰により食材調達に影響が出ており、適正な学校給食の提供が困難な状況になっている。</div>	<div><ul style="list-style-type: none">・議会から、学校I C Tへの対応、部活動の地域移行、スクールバス設置に向けた検討、過大規模校解消に向けた検討、コミュニティスクールの支援、通学路の安全確保、外国人の子どもたちへの支援等の要望がある。・市民等から、高嶺小学校の早急な移転改築計画の推進を望む要望がある。これに時間を要する場合、小中一貫校としての事業ではなくても、小学校校舎の危険改築として早期着手をしてもらえないかとの要望がある。</div>

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み							
指標A		総合計画【 小中一貫教育実施校 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		高嶺小中一貫教育校について、移転改築工事の入札不調により移転計画の見直しが必要となり、令和11年度の開校を目指すこととなったことから、目標達成が困難と見込む。					
指標B		総合計画【 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（小学校） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		糸満市学力向上推進主要施策重点取組施策①支持的風土の学級・学校づくり、②子供主体の学び合い高め合う授業づくり、③地域と共にある学校づくりの視点を基に研修や学校訪問を実施し、施策の推進及び指導助言を行うなど、全国平均以上のAを目指して取り組む。					
指標C		総合計画（総合戦略）【 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（中学校） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		糸満市学力向上推進主要施策重点取組施策①支持的風土の学級・学校づくり、②子供主体の学び合い高め合う授業づくり、③地域と共にある学校づくりの視点を基に研修や学校訪問を実施し、施策の推進及び指導助言を行うなど、全国平均以上のAを目指して取り組む。					
指標D		総合計画【 「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（小学校） 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		部活動等に入学し日頃から運動をする児童と運動をしない児童に二極化する傾向があることから、体育の授業以外で学校や地域の特色を生かした体力向上の取り組み「一校一運動」を推進し、全国平均以上のAを目指す。					
指標E		総合計画【 「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」における総合評価（中学校） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		体育の授業だけではなく、部活動（運動系、文科系）に入学し日頃から活動をする児童と活動をしない児童に二極化する傾向があることから、全国平均マイナス5ポイント以内のBが続くと見込む。					
指標F		参考【 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙における全国比較（小学校） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		魅力ある学校づくりの他、地域や関係機関と連携し児童生徒の育成を図ったことで昨年同様の成果があった。今後も例年の水準であるBが続くと見込む。					
指標G		参考【 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙における全国比較（中学校） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		魅力ある学校づくりの他、地域や関係機関と連携し児童生徒の育成を図ったことで昨年同様の成果があった。今後も例年の水準であるBが続くと見込む。					
指標H		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標の数	7指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	5指標 (71. 4%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	1指標 (14. 3%)	うち現在の想定では目標達成が困難	1指標 (14. 3%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）		
評価	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	・『「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙における全国比較』の指標の結果において、小学校は向上し、中学校は低下した。その他の指標の結果はほとんど変わらない。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）			
評価	他自治体と比べてほぼ同水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象 県内11市
理由	・学力及び体力については、小学校・中学校ともに県内他市と同水準である。 ・小中一貫教育実施校の状況は、他自治体と同水準であると考える。		

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）	
<div><ul style="list-style-type: none">・小学校教育から中学校教育への円滑な接続、指導方法や内容等一貫性のある取り組み、「基本的生活習慣」の定着と「学力の向上」の推進を図ることを目的に、研修等を通して小中連携を図っている。・令和3年度からタブレットを活用した学習ドリルを活用しており、自己の学習進度に応じた主体的な学びが可能となっている。・全校でコミュニティ・スクールを導入しており、各学校とも課題等に向けて熟議している。・コミュニティ・スクールによる地域人材・資源を活かした学校運営の推進に取り組んでいる。・令和6年度から医療的ケア児を受け入れている。・令和6年度から子供支援コーディネーターを配置し、支援を要する子どもの発見に向けたスクリーニングを推進するとともに、関係機関と連携できる仕組みづくりに取り組んでいる。・校内自立支援室を設置している。・令和6年8月に市長から高嶺小学校校舎移転改築基本計画の見直しの指示を受け、11月からワーキングチームでの検討を経て、令和7年1月時点で計画見直し委託業務契約に係る準備をしている。・新たな学校給食センターの整備推進。</div>	

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）	
<div><ul style="list-style-type: none">・G I G Aスクール構想でG I G Aタブレットの整備、電子黒板の機能強化など教育現場のI C T学習環境を整備しているが、国の推奨通信帯域が確保できておらず、学校I C T教育に支障を来している。・医療的ケア児の突発的な受け入れに係る環境整備、関係機関とのスムーズな連携に課題がある。・高嶺小学校校舎移転改築基本計画の見直しを早急に進める必要があるが、通常業務に支障を生じさせず計画見直しを行うには、職員体制の適正化が必要。・新たな学校給食センターの整備に向けて、南部病院跡地等造成事業の進捗等により影響が出る可能性がある。</div>	

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）	
<div><ul style="list-style-type: none">・高嶺小中の施設一体型については計画見直しとなったが、施設隣接型及び施設分離型の小中一貫教育を推進し、小中連携事業を通して9年間の一貫した「指導支援の確立」と「小中児童生徒の交流」の促進に取り組む。・コミュニティ・スクールの推進、支援。・医療的ケア児の受入体制に係る関係機関とのスムーズな連携構築。・スクリーニング会議後の関係機関とのスムーズな連携の推進。・学校I C T学習環境の整備。・高嶺小学校校舎移転改築基本計画の見直し。・新たな学校給食センターの整備推進。・物価高騰等の影響を鑑み、学校給食費の改定の必要性について検討を行う。</div>	